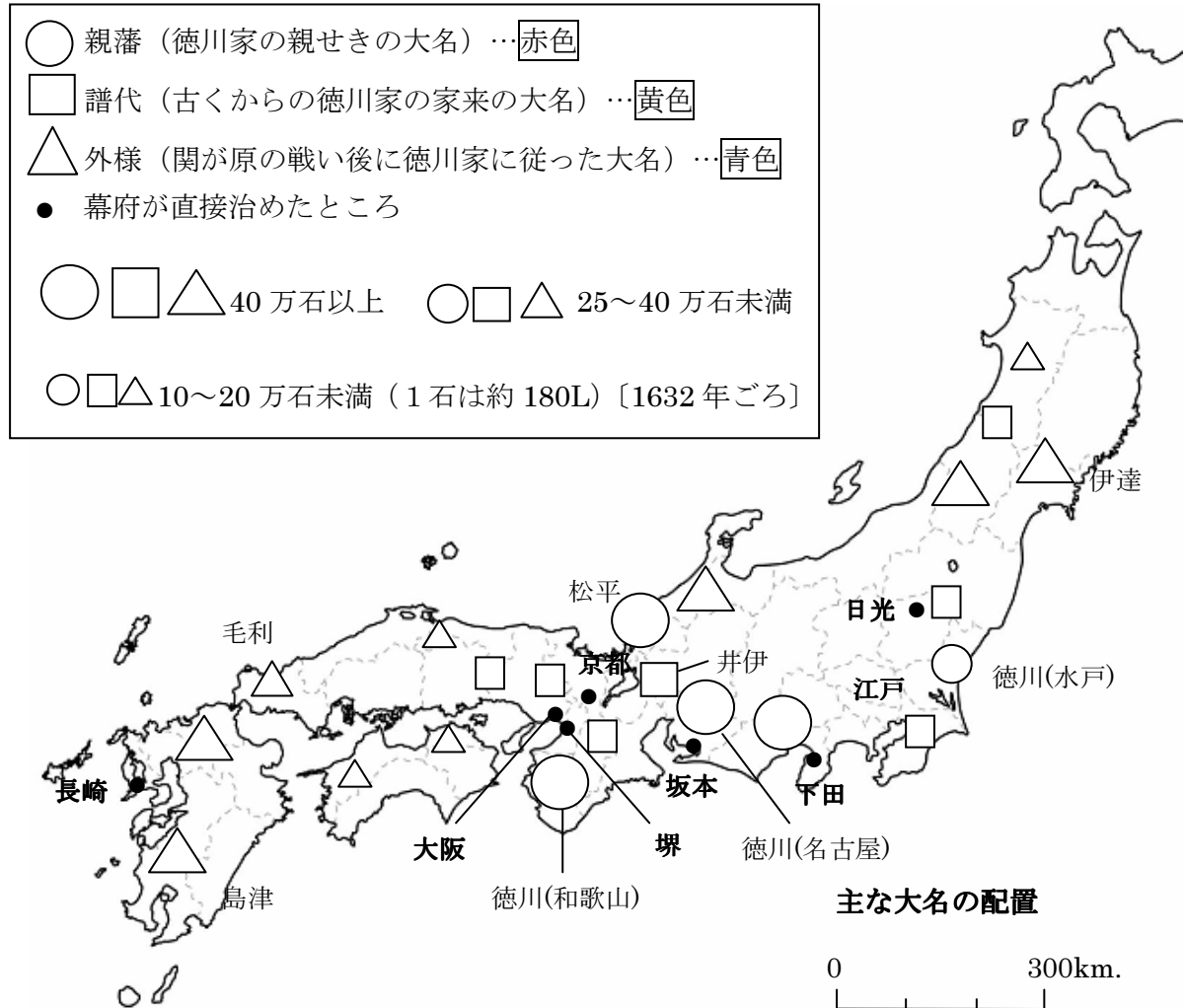


小社 6年	江戸時代の大名配置	組	氏名
No.8 発展		番	

### 問題 1

図にある3つの大名（親藩・譜代・外様）に色をぬって分けてみよう。



### 問題 2

図に色をぬって、大名配置について気づいたことを書いてみよう。

### 問題 3

なぜ、このように大名を配置したのでしょうか。

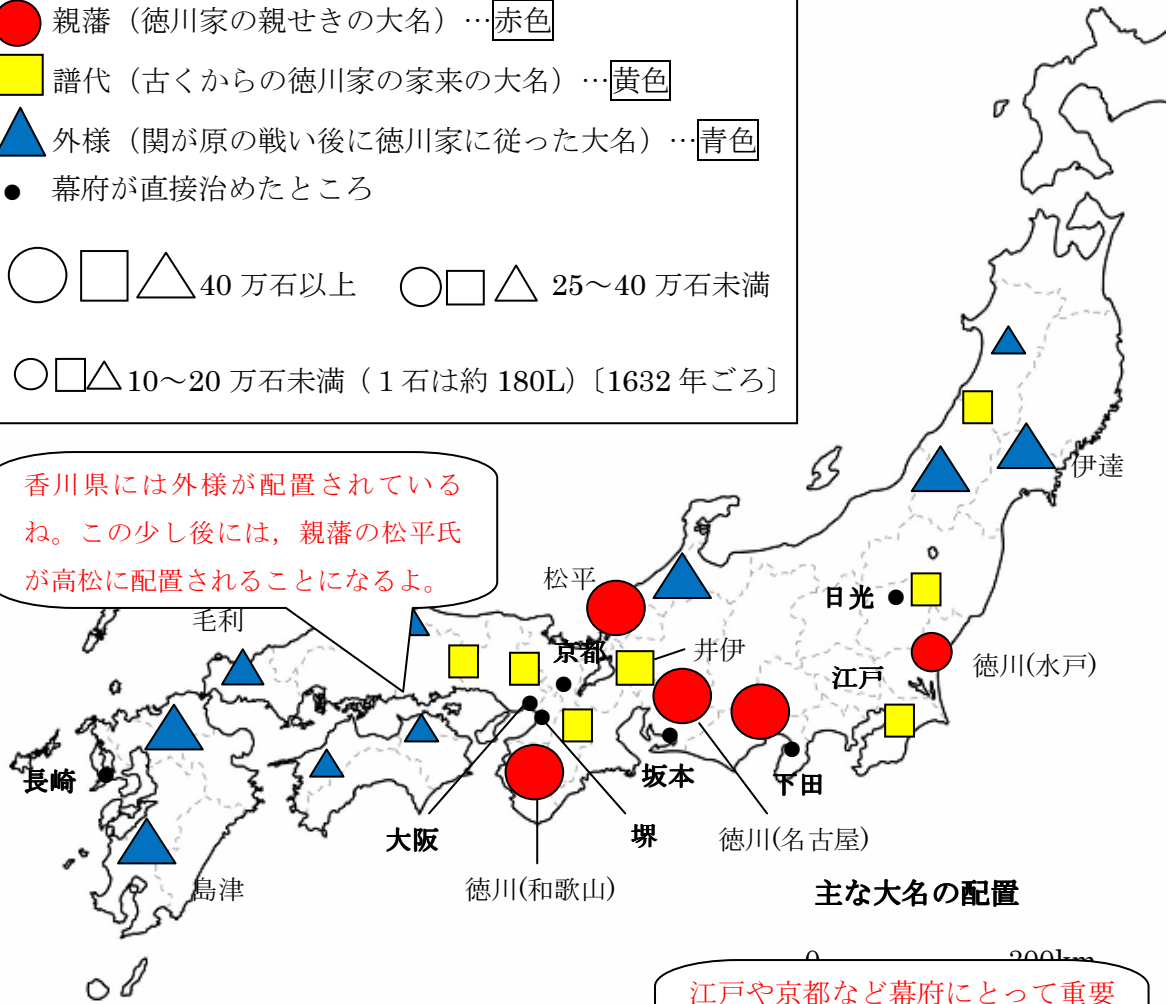
小社 6年	江戸時代の大名配置	組	氏名
No.8 発展		番	

### 問題 1

図にある3つの大名（親藩・譜代・外様）に色をぬって分けてみよう。

● 親藩（徳川家の親せきの大名）…赤色  
■ 譜代（古くからの徳川家の家来の大名）…黄色  
▲ 外様（関が原の戦い後に徳川家に従った大名）…青色  
● 幕府が直接治めたところ  
○ □ △ 40万石以上    ○ □ △ 25～40万石未満  
○ □ △ 10～20万石未満（1石は約180L）〔1632年ごろ〕

香川県には外様が配置されているね。この少し後には、親藩の松平氏が高松に配置されることになるよ。



江戸や京都など幕府にとって重要な地域には、信頼できる親藩や譜代を配置しているんだね。

### 問題 2

図に色をぬって、大名配置について気づいたことを書いてみよう。

江戸から近いところには、親藩や譜代が多く配置され、九州といった遠くの場所には外様が多く配置されている。  
幕府が直接治めた京都や大阪などにも、親藩や譜代が多く配置されている。



### 問題 3

なぜ、このように大名を配置したのでしょ

この頃は、外様は幕府に反発するかもしれないんだね。だから、江戸から遠いところに配置したんだ。

外様といった関が原の戦いの後に従った大名が、幕府に対して反乱を起こすことを難しくさせ、徳川幕府が安定して支配するため。

